



建交労秋季年末闘争 11.10 中央行動実施！ 軽貨物ドライバーの働き方を考えるシンポジウム 国交省・厚労省交渉&国会議員要請などを展開

建交労は、全労連・交運共闘などの行動とも連携し2022年秋季年末闘争の結節点として11月10日に中央行動を展開しました。

建交労の各業種部会はそれぞれ独自の行動に取り組むなかで神奈川県南支部が結集する全国トラック部会の仲間は、最初に衆議院第二議員会館で10時から開催された“軽貨物ドライバーの働き方を考えるシンポジウム”に結集しました。全労連／建交労／建交労軽貨物ユニオンの共催によるこのシンポジウムは、神奈川県本部の高橋書記長（軽貨物ユニオン委員長）が中心となって進めてきた軽貨物ドライバーの組織化とその



主催者挨拶をする角田建交労委員長



問題提起をする首藤若菜立大教授

要求実現を追求する運動が業界やマスコミでも注目されるなかでの開催となりました。主催者挨拶を行なった建交労の角田委員長は、建交労の歴史的なたたかいにも触れながら、いま劣悪な労働環境で働く軽貨物ドライバーの全国的な組織化のスタートに立ったことを強調しました。

シンポジウムは、立教大学経済学部の首藤若菜教授による「軽貨物業界が抱える問題」と題する問題提起のあと、首藤教授をコーディネーターに高橋英晴（建交労軽貨物ユニオン委員長）、大島二郎（元アマゾンドライバー）、矢作和徳（(株)トランプ社長）、水口洋介（東京法律事務所弁護士）

の4人のパネラーとのパネルディスカッションへとすみました。

ディスカッションでは、個人事業主と位置づけられアマゾンや楽天など大手ネット通販企業や元受け企業が設定する苛酷な契約・取引条件のなかで働く軽貨物ドライバーや二次・三次など末端事業者の劣悪な労働・経営実態が浮き彫りにされました。それでも、建交労軽貨物ユニオンをはじめ勇気ある労働者や軽貨物事業者などのたたかいによって労働組合法が適用される労働者として社会的にも認知される状況をつくりだしてきた軽貨物ドライバーのたたかいは大きな発展段階を迎えつつあります。



パネラーの高橋氏（左）と大島氏

シンポジウムの最後に今後の軽貨物のたたかいのポイントを問われた高橋軽貨物ユニオン委員長は、「団結」を挙げました。労働者間をはじめ中小事業者間、労働者と中小事業者など大手の横暴に対抗する幅広い団結の重要性を強調しました。シンポジウム参加者はオンライン参加を含め107名でした。



シンポジウム終了後、トラック部会の仲間は短い昼食休憩をはさんで同じ衆議院第二議員会館内の会議室に移動し、国土交通省と厚生労働省との交渉に入りました（左の写真）。

神奈川県南支部からは、この日の中央行動に小島委員長、合同分会の益山さん、赤羽が参加しましたが、休憩後は衆議院第一議員会館に移動して16名の衆議院議員（厚生労働委員）議員室を訪問し「安全・安心なトラック輸送の実現に向けた要請」行動を行い、再び第二議員会館に戻って厚労省との交渉に参加して1日の行動を終えました。

内閣総理大臣 様
衆議院議長 様
参議院議長 様

憲法改悪を許さない全国署名

行き詰まって相次いで政権を投げ出した安倍・菅政権をひきついだ岸田文雄政権は、2021年の総選挙で改憲発議に必要な3分の2の議席を手に入れました。岸田首相は中国や朝鮮を念頭に違憲の「敵基地攻撃能力の保有」となえ、歴代政権がかろうじて維持してきた防衛費の対GDP比1%以内の原則をも放棄して2%以上を主張するなど、米国をはじめ欧米諸国との軍事協力を強化し、「戦争する国」づくりを進め、アジアの緊張を高めています。しかし、この道の障害になるのが憲法9条など、日本国憲法の理念です。

改憲派は次の参議院選挙をにらみながら、9条に自衛隊を書き込むこと、緊急事態条項を創設することなどを内容とする自民党改憲4項目案をベースにして、国会の憲法審査会での改憲案づくりを急ごうとしています。

私たちは国会が改憲の発議をすることを許さず、すべての戦争に反対し、憲法を生かし、平和と民主主義、人権、環境、暮らし・医療・公衆衛生向上などを実現する政治を求めます。

【請願事項】

- 1、自民党が提唱する憲法9条に自衛隊を書き込むことなどの改憲4項目に反対します。
- 2、憲法を生かし、平和と民主主義、人権、環境、暮らし・医療・公衆衛生などの向上を実現する政治を求めます。

名 前	住 所

※いただいた署名は国会請願と首相への要請以外には用いません。

呼びかけ団体 **9条改憲NO! 全国市民アクション**

ホームページ: <http://kaikenno.com> メールアドレス: info@kaikenno.com

ツイッター twitter.com/no9kaikenno
インスタグラム [instagram.com/9jyokaikenno/](https://www.instagram.com/9jyokaikenno/)
フェイスブック [facebook.com/kaikenno/](https://www.facebook.com/kaikenno/)



連絡先

- 戦争をさせない1000人委員会《☎03-3526-2920》
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2-11 連合会館内
- 憲法9条壊すな！実行委員会《☎03-3221-4668》
〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3-3-3 太陽ビル402市民ネット内
- 戦争する国づくりにストップ！憲法を守り・いかす共同センター《☎03-5842-5611》
〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館4F
- 九条の会《☎03-3221-5075》
〒101-0065 東京都千代田区西神田2-5-7-303

取り扱い団体

内閣総理大臣 殿

唯一の戦争被爆国 日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名

いま世界では、核兵器禁止条約の発効から核兵器廃絶へとすすもう、という声広がっています。多くの国ぐにが被爆者の声に耳を傾け、「核兵器による安全」ではなく、「核兵器のない世界による安全」を選択し、核兵器禁止条約を支持し、参加しつづけます。

唯一の戦争被爆国である日本政府は、核兵器廃絶の先頭に立たなければなりません。

国内の世論調査でも、日本が核兵器禁止条約に参加すべきとの声は7割を超えています。日本政府がこの被爆者と国民の声に誠実に応えることを訴えます。

私は、日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求めます。

名 前	住 所	募 金

この署名は、2020年10月29日、被爆者をはじめ各界・各層の代表126氏によびかけによりスタートしました。日本政府に提出します。ご記入いただいた個人情報、この要請目的以外には使用しません。

【取扱団体】

連絡先:署名事務局(原水爆禁止日本協議会)
〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-4
電話:03-5842-6031